

令和7年度

令和8年 特別号

京都市立柘野小学校

校長 葉山 貴巳



# 柘野だより

学校教育目標 「ともに学び ともに育つ」

3つのキーワード「当たり前」の事を「当たり前」に、背伸び、感謝」



## 令和7年度 第2回学校評価アンケートの結果のお知らせ

平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。1月に実施いたしました第2回学校評価アンケートの結果を報告させていただきます。

第1回から第2回にかけて、特に「豊かな心」の領域では、特別活動が充実しているとの回答が見られました。一方で、「児童アンケート」における「確かな学力」の領域では、第1回よりも肯定的な回答に落ち込みが見られました。

今後も、家庭・地域の皆様と連携しながら、子どもたちの「心・学び・体」のバランスのとれた育成に取り組んでまいります。

	保護者アンケート	実現度		児童アンケート	実現度		教職員アンケート	実現度		地域アンケート	実現度		
		positive	negative		positive	negative		positive	negative		positive	negative	
1	R7. 第1回	お父さんは楽しく学校に行っている。	94%	6%	がっこうはたのしい	91%	9%	学びや活動の必然性を大切に、子ども の主体性を引き出そうとしている。	83%	17%	学校は、学校教育目標やめざす 子ども像の達成に向けて、教育 活動を行っている。	100%	0%
	R7. 第2回		95%	5%			91%		9%			93%	7%
2	R7. 第1回	お父さんは参観の様子やノート・テスト の状況等から授業を理解している。 と考える。	81%	19%	めあてにむかっがくしゅうをすす めている。	91%	9%	めあてとふり返りを大切に、学びと評 価の一体化を図り「わかった・できる」 を実感できる授業をしている。	83%	17%	学校は、学校便りやホームペ ージなどで学校の様子を伝えている。	100%	0%
	R7. 第2回		83%	17%			90%		10%			89%	11%
3	R7. 第1回	お父さんは、「なぜ?」「調べたい !」など興味や関心をもって進んで 学習に臨んでいる。	67%	33%	「なぜ?」とおもったことを、じぶん からすすんでしらべたりかんがえたり している。	79%	21%	子どもの問いを大切に授業づくりを 行っている。	80%	20%		確 かな 学 力	
	R7. 第2回		67%	33%			75%		25%				89%
4	R7. 第1回	お父さんは、相手に分かるように、自 分の考えを話したり書いたりして、周 りの人に伝えている。	72%	28%	じぶんのかんがえをはなしたりかいた りしてまわりのひのにできるだけわか るようにつたえている。	81%	19%	授業に、考えを書いたり、協働的な学び を意識した話し合ったりする活動を入 れるようにしている。	83%	17%			
	R7. 第2回		74%	26%			77%		23%				89%
5	R7. 第1回	お父さんは、読書をしたり、本で調べ 物をしたりしている。	48%	52%	ほんよんだり、ほんでしらべもの をしたりしている。	73%	27%	子どもが本に親しむ環境づくりや声か け、活動を工夫している。	77%	23%			
	R7. 第2回		48%	52%			62%		38%				80%
6	R7. 第1回	お父さんは、自分で計画的に家庭学習 に取り組んでいる。	59%	41%	じぶんてがくしゅうのけいかくをたて て、しゅくだいやチャレンジノートな どにとりくんでいる。	82%	18%	家庭で主体的に学習できるように、個別最適な 学びを意識し、学習マネジメントを視野に入 れた計画や学習の取組を工夫している。	57%	43%			
	R7. 第2回		60%	40%			82%		17%				54%
7	R7. 第1回	お父さんは、学習にGIGA端末を適切に 活用している。	72%	28%	GIGAたんまつがくしゅうするのにや くだしている。	85%	15%	「京都DXビジョン」を意識し、GIGA端 末をより効果的に学習に取り入れている。 。	83%	17%			
	R7. 第2回		80%	20%			95%		5%				89%
8	R7. 第1回	お父さんは、情報モラルに気を付け、 GIGA端末やスマートフォンなどの情報 機器を正しく扱っている。	84%	16%	じょうほうやGIGAたんまつなどをつか うときのルールやマナーをまもってい る。	98%	2%	情報や情報機器を正しく使えるよう、情 報モラルについて指導している。	90%	10%			
	R7. 第2回		88%	11%			98%		2%				100%
9	R7. 第1回	お父さんは、たてわり活動や1年生を迎 える会など全校での活動を充実させて いる。	92%	8%	なかよグループでいろいろながくね んときよりよくしたりかかわったり している。	88%	12%	児童会活動等で子どもの「やってみよ う」という気持ちを実現できる取組をし ている。	87%	13%	子どもたちは、地域の人に挨拶 をしている。	71%	29%
	R7. 第2回		95%	5%			96%		4%			92%	8%
10	R7. 第1回	お父さんは、自分も周りの人も大切に することを考えて、きまりを守ってい る。	94%	6%	じぶんまわりのひともたいせつにす ることをかんがえて、きまりややくそ くをまもっている。	96%	4%	学校のきまりや約束のある意味を共に考 え、繰り返し丁寧に指導している。	100%	0%	子どもたちは、学校や地域で ルールやマナーを守っている。	100%	0%
	R7. 第2回		95%	5%			96%		4%			100%	0%
11	R7. 第1回	お父さんは、頼れる先生や友だちがい る。	93%	7%	せんせいやともだちにごまったことな どをそうだんしている。	80%	20%	一人一人の子どもに寄り添い、温かい指 導、迅速な対応を心がけている。	93%	7%	学校は地域と連携して子どもを 育てている。	100%	0%
	R7. 第2回		95%	5%			78%		22%			97%	3%
12	R7. 第1回	お父さんは友だちひとりひとりのちが いを認め、よさを見つけている。	96%	4%	ともだちひとりひとりのちがいをみと め、よさを見つけている。	89%	11%	毎月のにこにこ目標をもとに人権教育を 実施し、多様性や思いやりの心の育成・ 集団作りに努めている。	90%	10%			
	R7. 第2回		96%	4%			88%		11%		92%	8%	
13	R7. 第1回	お父さんは、交通ルールやマナー、非 常時の命を守る方法などを理解し、安 全に気を付けて過ごしている。	95%	5%	じぶんやまわりのひとのあんぜんをま るるために、こうつうルールをまも たりひんなくんれんにしんけんにとり くんだりしている。	96%	4%	放課後の遊び方や、交通安全、非常時の 避難方法について子どもが主体的に考 える指導している。	87%	13%	健 やか な 体		
	R7. 第2回		97%	3%			96%		4%			92%	8%
14	R7. 第1回	お父さんは、食事や運動の大切さを理 解し、健康に気を付けたり、運動に親 しんだりしている。	86%	14%	しよくじやうんどうのたいせつさをし り、けんこうにきをつけてたり、うん どうにしたしんだりしている。	92%	8%	健康や体力向上について子どもが主体的 に考える指導している。	73%	27%			
	R7. 第2回		88%	12%			92%		8%		89%	11%	

## 「確かな学力」の育成に向けて

「楽しく学校に通えている」といった項目は引き続き高く、第2回でも肯定回答は8~9割を維持しています。特に、情報モラルやGIGA端末の適切な活用は前回よりさらに向上しています。引き続き、情報機器の扱いや情報モラルについては、保護者の皆様と連携を図り、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

一方で、「家庭学習の計画的な取組」「読書・調べ学習」は第1回に続いて相対的に低い傾向が続いており、今回は全対象平均で65%前後でした。学校としても、子ども一人一人が取り組みやすい学習の見える化や読書の機会づくりを、今後さらに工夫して参ります。各家庭での協力も欠かせません。学校とタイアップしていただけますと幸いです。

## ○「問い」を大切にしたい主体的な学び

1月30日に、北支部研究発表会で生活単元学習、生活科、社会科の授業を公開しました。場の設定を工夫することで、育成学級や低学年の子どもたちは、「もっとやってみよう」「どうしたらいいのかな?」という思いをもち、学習をすることができました。中学年、高学年では、子どもたちの疑問を引き出せるよう、資料の内容や提示の仕方にこだわった授業をしました。子どもたちは、資料から気付いたことをつぶやき、考えを出し合いながら学習問題を設定しました。

日頃から「問い」を大切にしたい授業づくりを意識しています。子どもたちの「なぜ?」「調べてみたい!」という主体的な探究心や学びをさらに引き出せるような授業改善を進めていきたいと思っています。



## 「豊かな心」の育成に向けて

### ○充実した特別活動

第2回では、「なかよしグループでいろいろながくねんときょうりょくしたりかかわったりしている」というアンケート内容に対して、肯定的な回答が96%と非常に高い結果となりました。たてわり活動や全校活動を通して、異学年での交流が広がってきたように感じます。

昨年度より、定期的なたてわり掃除を実施しています。正しい掃除の仕方とともに、無言清掃にも取り組んでいます。たてわりグループ内でさらにペアになり、協力しながら掃除を進めています。協働する中で、高学年は上級生としての責任感が生まれているように感じます。また、1~4年生は高学年へのあこがれや展望が芽生えているように感じます。高学年は下級生からいっそうあこがられる存在になってほしいと考えます。

3学期には、冬野ステージや6年生を送る会など、子どもたち主体の児童集会を予定しています。子どもたちが自分たちでよりよい学校文化を紡いでいけるよう、取り組んで参ります。



## 「健やかな体」の育成に向けて

### ○体力向上・健康増進・食育推進

給食週間の取組では、「からっぽ大賞」や「豆つまみりレー大会」を行いました。栄養教諭の食育指導や委員会活動での取組により、普段、何気なく食べている給食に、感謝の気持ちをもつと共に、食への関心を高めることができました。

### ○安全について

災害や、不審者対応の避難訓練を実施しました。今年度は二次避難として、全校児童が一次避難場所から体育館へ集まる取組をしました。災害時のイメージし、自分事として訓練に臨めるよう、指導していきたいと思います。

